

車両所は検温しなくてもいい！！

新型コロナウイルス感染症防止対策はマスク、

アルコール消毒液、防護シートで十分だ？？？

10月13日、J R 東海 労新幹線 関西地本は「出勤時の社員の検温実施について」関西支社と業務委員会を開催しました。その中で会社は全駅員、乗務員の検温を行う目的を「新型コロナウイルス感染の可能性のある社員が業務に就くことを防止することにより、職場内での感染やお客様への感染を防止するためである。また、全駅員、乗務員が検温を実施することにより、一緒に働く社員やお客様へ安心感を与えることにつながると考えている。」と回答しました。

しかし、車両所などその他の職場は「対象職場にならない」という回答でした。その理由について「マスク、アルコール消毒液、防護シートを準備しているので新型コロナウイルス感染症防止対策には十分対応している」と回答しました。

**皆さん、これで本当に新型コロナウイルス感染症防止対策として十分でしょうか？
対策はいくらあっても十分ということはないのではないのでしょうか！！**

鳥飼基地の社員はもちろんのこと、関係会社、業者等など多くの人が出入りしています。もちろん乗務員も出入りします。

それなのに、なぜ会社は頑なに検温を拒むのでしょうか？！

それは検温の真の目的が、社員に対しての新型コロナウイルス感染症防止対策ではなく、「接客に携わる社員は、お客様に感染させるリスクもあるため」と回答している通り、「社会的・対外的アピールに重点を置いている」または、「感染者が出た事への追加の対策」としてだけではないのでしょうか？！

実際、駅や乗務員以外の職場でも新型コロナウイルスに感染している社員がいることが確認されています。どのような対策が行われているのでしょうか？

私たちは社員に対しての新型コロナウイルス感染症防止対策として検温を含めたあらゆる手段での対策を求めていきます！！